

祇園祭の花「ひおうぎ」を産地の宮津で次世代に継承 ～ 地元小学生を対象とした「花育」を開催します ～

厄除けの花「ひおうぎ」は祇園祭と結びついた京都の伝統的な花です。府では、産地を守るため、地元宮津市での花文化継承と利用拡大を目指し、祇園祭期間中である7月18日に、宮津市立日置小学校の児童を対象に丹後管内で初めて「花育」を実施します。

「ひおうぎ」の花文化の継承と利用拡大を目指した「花育」を地元小学生児童を対象に開催しますので、事前の周知と当日の取材についてよろしくお願ひします。

1 日 時

令和5年7月18日（火） 13：40～15：20 （5～6校時）

2 場 所

宮津市立日置小学校体育館 （京都府宮津市日置1230）

3 対 象

宮津市立日置小学校4～6年生および教育関係者

4 内 容

府による「ひおうぎ」のいわれの講義、地元農家による産地の現状について説明の後、花き装飾技能士による「ひおうぎ」アレンジメント作品づくりの体験

5 主 催

京都府丹後農業改良普及センター
JA京都花き部会宮津支部

6 取材について

小学校の取材対応の関係上、御取材いただける場合は7月12日（水）までに担当あて御連絡願ひます。



伯牙山での飾花

<参考：花育概要>

花育（はないく）とは、園芸や作品作成等の、花や緑に親しみ、育てる機会をとおして、やさしさや美しさを感じる気持ちを育む事業です。

【本報道発表に関するお問合せ】

丹後広域振興局農林商工部丹後農業改良普及センター

所長 太田 TEL:0772-62-4308

課長補佐兼係長 大砂古（おおさこ） TEL:0772-62-4308

